

開講年度・学期	2017 年度・後期	授業形態	演習
科目名	演習論文（政治学）	科目ナンバー	JASEM3305
英語表記	Thesis Seminar on Political Science	担当教員	稗田 健志
単位数	2		
科目の主題			
実証政治分析入門			
授業の到達目標			
学問的に意味のある問いを見つけ、それに対する仮説を立て、適切な方法でその仮説を検証することができるようになる。			
授業内容・授業計画			
<p>「政治学演習」で身につけた科学的推論方法を応用し、1万字程度のゼミ論を執筆する。演習内では、次に示すステップの各段階で報告し、他の演習参加者および講師からフィードバックを得る。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 問題意識 論文で取り上げたいテーマと関連文献を発表する。 2. 問題設定 関心を持つテーマについての研究動向を調べ、自分の論文で取り組む、まだ未解決の問題を設定する。 3. 理論と仮説の提示 設定した問いに答える理論・モデルを組み立て、その理論・モデルが正しいとすればデータで確認できる仮説を提示する。 4. データと分析方法 分析に用いるデータと、分析方法の妥当性を論証する。 5. 分析 分析を行う。適切な分析方法は、問題設定に応じて異なる。設定した問いに答えるのに妥当であれば、質的ケーススタディ、観察データの計量分析、参与観察、実験、等々どのような方法でも良い。 6. 結論 分析結果をまとめ、設定した問いに対する暫定的な解を提示する。 			
事前・事後学習の内容			
<p>事前学習：各段階に必要な作業を行い、草稿を執筆する。</p> <p>事後学習：演習内で受けたフィードバックをもとに草稿を改稿する。</p>			
評価方法			
論文の水準で評価する。論文が「専門演習」の単位の認定に必要な程度の水準に達していれば、「演習論文」の単位も認定する。			
受講生へのコメント			
2017 年度通年科目「政治学演習」を履修する者のみが 2017 年度後期「政治学演習論文」を履修できる。また、「政治学演習」履修者は「政治学演習論文」の単位の登録も必須とする。			
教材			
演習中に指示する。			

その他

2017 年度前期開講の「法学政治学計量分析」を並行履修すると、より理解が深まるだろう。

履修可能最低年次

3 年次生以上